

My Town Tobetsu

広報 とうべつ

発行=北海道当別町 編集=企画課

No. 451 平成3年4月1日発行



4

パラーセーリングで大空を散歩（スノーフェスティバル）

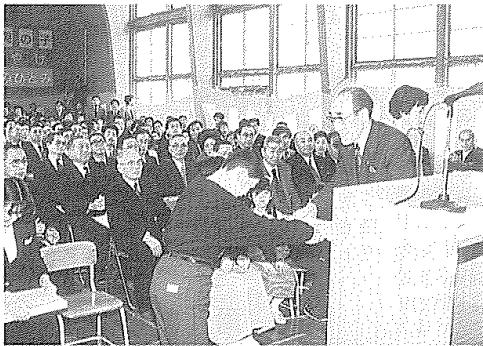
高岡小最後の卒業式 思い出多し校舎に別れ

3月いっぱいで廃校になつた当別高岡小学校（北野直徳校長・14人）の最後の卒業式が3月17日、同小体育馆で行われました。

最後の卒業生となつたの



閉校式で校歌を歌って校舎に別れを告げる児童たち



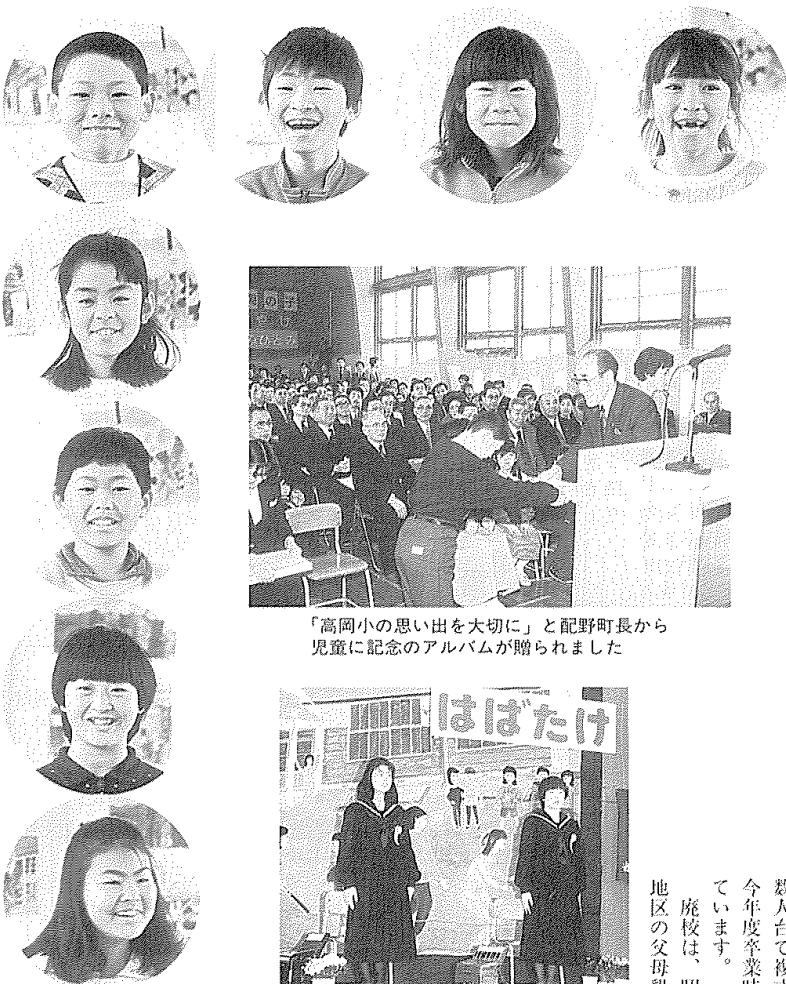
「高岡小の思い出を大切に」と配野町長から児童に記念のアルバムが贈られました



最後の卒業生となつた田岡さん(左)と間嶋さん



90年の歴史に幕をおろす高岡小学校



もなりましたが、最高79戸を数えた世帯も減反政策などで離農が進み、現在は54戸まで減少、さらに出生率の低下などで、児童数はここ数年は10数人台で複式授業が行われ、今年度卒業時には14人となっています。

廃校は、昭和63年夏に高岡地区の父母懇談会で、西当別

小学校への統合の話が出たため、協議を進め昨年3月に廃校することを決めました。

4月から12人の在校生は、約7%離れた西当別小学校にスクールバスで通うことになります。

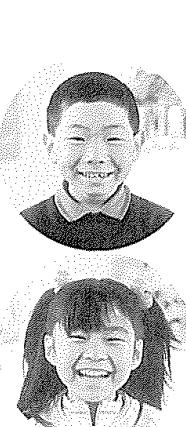
明治34年開設以来90年、大正5年独立校になつてから、送り出した卒業生は、756人になつておらず、3月21日の閉校式を最後に親子4代にわたって学んだ校舎に歴史の幕がおろされることになります。

は、田岡晴美さんと間嶋道代さんで、2人は進学先の西当別中学校の制服に身を包み、在校生の「明日にかける橋」の演奏や、先生や父母の拍手にむかえながら入場しました。

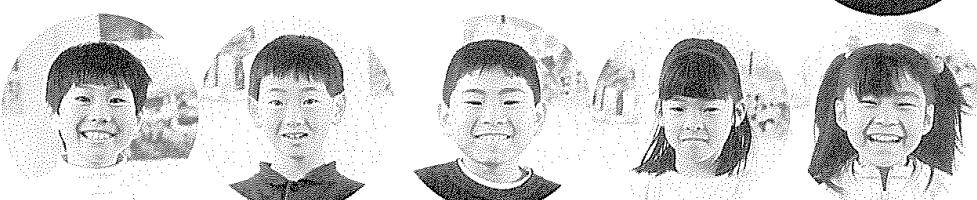
ステージの壁には、全校生で描いた、同小の全景の縦6帖、横5帖ほどの絵が飾られ、2人はその前で北野校長から卒業証書を手渡されました。

北野校長は、思い出話を交えながら「最後の卒業式になりました。この校舎で学んだことを忘れないで、西当別中学校へ行っても、自分が正しいと思つたことを責任を持つて実行できる人とになってください」と励ましの言葉と、「継続は力なり」と書かれた色紙を2人に贈りました。

このあと、在校生12人と卒業生2人が対面してお別れの

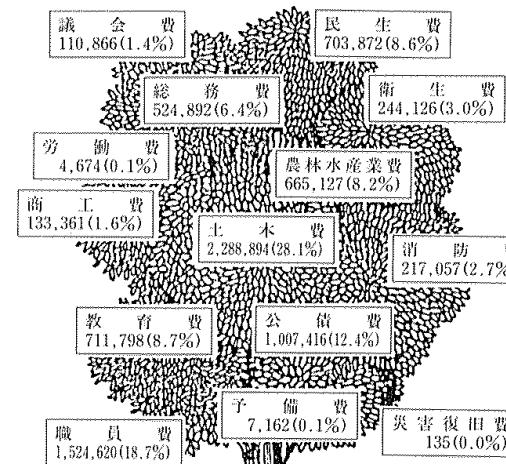


かがやけ14人のひとみ

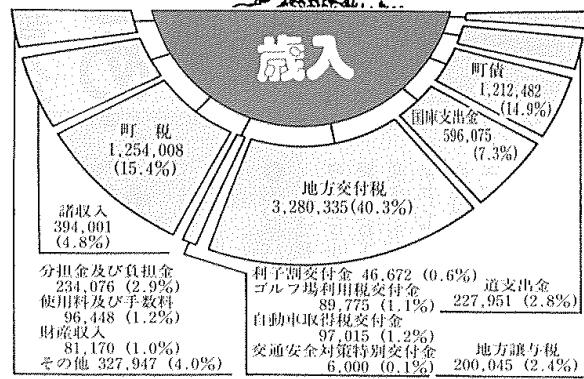


平成3年度一般会計

(単位 千円)



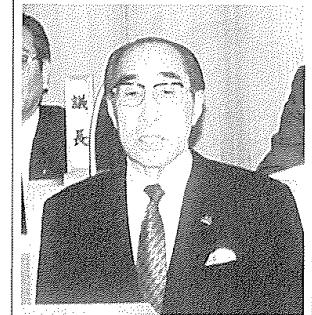
歳出



市民1人あたりの歳出(一般会計)

費目	額
議会費	6,906円
公債費	62,755円
総務費	32,697円
消防費	13,521円
商工費	8,307円
民生費	43,846円

21世紀を展望した活力と魅力あるまちづくり 一般会計は81億4,400万円で前年度比5.8%増



円

衛生費

- 一般住民健診などに3,140万円
- ごみ、し尿収集のため1億2,838万円
- 火葬場炉改修工事1,050万円
- 水道事業会計に3,000万円
- 環境衛生費に797万円

労働費・商工費

- 当別町商工会に補助1,400万円
- 中小企業特別融資制度基金に3,000万円
- 道民の森・町宣伝用看板4,350万円

- 2億902万円
- 道路の新設と改良に7億877万円
- 土地区画整理事業に3億1,322万円
- 田園、鉄北通の改良舗装など街路事業に3億8,710万円
- 下水道事業特別会計に2億2,900万円
- 町営住宅の管理に6,641万円
- 白樺、もみじ公園などの造成及び公園管理のため2億4,171万円
- 道路の維持管理費に6,480万円
- 河川改良費に3,000万円
- 道路台帳作成費に746万円
- 橋りょう維持、改良に1,656万円

教育費

- 小・中学校の管理運営に9,768万円
- 小・中学校の牛乳給食費に1,064万円
- 当別小学校グラント整備、弁別小学校校修繕、蕨岱小学校屋内体育館改修工事などに3,259万円
- 農道新設改良費に5,009万円
- 農業振興費に4,847万円
- 農業集落排水事業特別会計に2,600万円
- 稲作転換対策費に1,298万円
- 小・中学校の管理運営に9,768万円
- 当別小学校グラント整備、弁別小学校校修繕、蕨岱小学校屋内体育館改修工事などに3,259万円
- 農道新設改良費に5,009万円
- 農業振興費に4,847万円
- 農業集落排水事業特別会計に2,600万円
- 稲作転換対策費に1,298万円

土木費

- 除雪の委託など機械センター費

配野田平町長は、3月6日開催の第2回町議会定例会で、21世紀を展望した活力と魅力あるまちづくりを進めるため、「健全な行政財政の運営」「当別ダム建設の早期着手」「交通網体系の整備」「道民の森の活用」「国際交流」「産業の振興」「社会福祉の充実」など31項目を柱とした平成3年度の行政執行を表明し、議員並びに町民に理解と協力を求めました。

取得に2,679万円 ○伊達郎別館、記念館などの運営に6,927万円

その他

- 消防費として石狩北部地区消防事務組合に2億1,705万円
- 公債費に10億741万円
- 職員給与費として15億2,462万円などとなっています。

特別合計・企業会計 (単位 千円)

老人保険	国民健康保険	下水道事業	農業集落排水	水道事業
2,093,000	1,376,000	800,000	168,400	554,060

人口 16,053人 (3月1日現在)

町民合計 411,595円
世帯合計 1,222,437円
1人当たり 1戸当たり

まちの話題 あれこれ

町青年問題協議会（会長・配野定平町長）は、平成2年度の青少年善行者として、高橋里津子さん（当別中3年）と蕨岱小児童会（松浦律子会長、30人）の1個人1団体を選び、2月26日役場で顕彰式を行いました。

高橋さんは、小学生のころから地域の育成会活動に積極的に参加し、リーダーとして活躍、また、同児童会は昭和60年から、学校近くの国道周辺などの清掃活動を続けてきたことが認められたものです。

式では、配野町長が「今日の喜びを大切に今後も頑張ってください」と激励し表彰状を手渡しました。

永年勤続者79人を表彰



平成2年度当別町商工会永年勤続従業員表彰式が3月2日、田西会館で行われました。

企業や商店などに永年勤務し、商業に貢献した人に贈られるもので、勤続5年から30年までの79人に表彰状と記念品が贈られました。

式で宮永龍美商工会会長が「若年労働力不足が深刻になっている中、永年働き続けたご苦労に感謝します。今後も職場で活躍をお願いします」とあいさつしたあと、一人ひとりに表彰状と記念品を手渡しました。

第5回スウェーデンヒルズ歩くスキーの集いが3月3日、獅子内丘陵地で行われました。

町歩くスキークラブ（吉江彪会長）が主催したもので、地元をはじめ札幌などから約60人が参加して行われました。

この日は、吹雪にみまわれ10キロコースを中止し、全員が5キロコースを一列になって出発しました。小学生から75歳のお年寄りらは、起伏のあるコースを元気よく、スキーを滑らせました。

滑り終ったあとは、事務局で用意した豚汁に舌鼓をうっていました。

善行者に高橋さんら表彰



第8回ミニバレー大会が2月24日、町総合体育館で行われ、職場やスポーツクラブ編成の34チームと少年団など小・中学生チームの7チームが熱戦を繰り広げました。

冬の運動不足を解消してもらおうと、当別町体育指導員協議会（有澤清美会長）が毎年開いているものです。

1チーム4人編成でビーチボールを使って行うもので、だれにでも手軽に出来ることから、参加チームも年々増え続けています。

この日は、トーナメント方式で試合が行われましたが、ボールが軽いので、レシーブ、サーブが変化するため珍プレーがとびだし、応援席から笑いを誘っていました。

ミニバレーに熱戦



あなたの地区の楽しい催しや、できごとなどを、企画課広報広聴係に、どしどし、お知らせください。

（☎ 3局2330 内線243）

吹雪に負けず歩くスキー



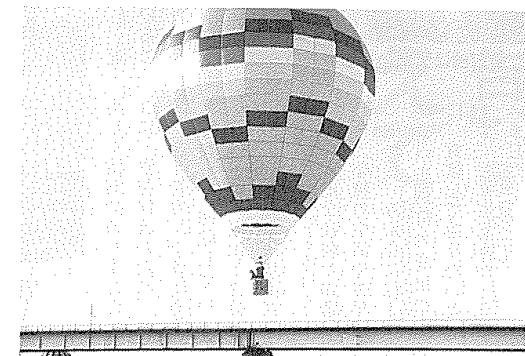
5年前から仕事の合間をぬって作業を進めていた手作りの熱気球が、3月24日石狩平野の空高く舞い上がりました。

この熱気球を完成させたのは、札幌のホクレン研究所に勤める伊規康成さんと久美子さん夫妻（春日町）で、気球の大きさは高さ15m、最大直径14mの2人乗りです。

康成さんが学生時代に2回作った経験があることから、自分たちだけで作ってみようと思いついたのです。

この日は、新篠津村の岩見沢大橋の石狩川河川敷地から、栗沢町までの15kmを1時間17分かけてゆっくり飛びました。

手作り気球が大空へ



各種相談業務

町では、国や道から委嘱をされている方を含めて、各種相談員制度を設けています。官公署の問題、人権問題、借地借家、不動産売買など、その他の心配ごと相談に応じています。いずれの相談も無料で秘密守られます。

また、これらの相談の他、生活、父子、母子などの身近な事例

相談員として、各地域の民
生・児童委員も相談に応じて
います。
人権擁護委員が増員
12月1日付で法務大臣より、太美町の三富女里子さんが、新らたに人権擁護委員として委嘱を受け、皆さんの相談相手になりますので、よろしくお願いします。

▼心配ごと相談
田村 正治 ③-2100
▼人権相談
加藤 政幸 ③-3913
▼老人福祉相談
大崎喜一郎 ⑦-2169
▼精神薄弱者相談
桑嶋 ミキ ③-2311
▼行政相談
皆川 寿美 ②-2168
▼消費生活相談
大島 晃 ③-3177
▼身体障害者相談
眞野 武子 ③-2487
▼相談員
大崎喜一郎 ⑦-2169
▼相談方法
直接役場においてになるか、電話で相談ください。
▼詳しい問い合わせ
福祉保育課 ⑥(③)-2333
0 内線133)まで

平成4年1月10日から
法務局当別出張所が
江別出張所に統合

札幌法務局当別出張所が平成4年1月10日から同局江別出張所に統合されます。

これまで多数の町民から統合延期の要望を受けてきましたが、この度国の行政改革の懸案事項である法務局の適正配置により、当別町と札幌法務局との協議で統合が決定されました。また明年の統合以降は月一回、登記相談所の開

設が予定されておりますので詳しく述べ後日お知らせします。
ご協力ください
▼ご協力ください
山々の雪解けがすすみ、日ざしも日に強くなり春らしさが増してきました。皆さんの愛車は夏タイヤへはきかえましたか。

4月1日から札幌圏7市町（当別町も含む）が、法律に基づくスパイクタイヤ使用規制

地域に指定されました。スパイクタイヤも3月末で販売が中止されました。脱スパイクタイヤ社会へ着実に移ってきています。
皆さん、スパイクタイヤを脱いで粉じんのないさわやかな春を迎えましょう。

▼川辺で遊ぶ子に注意
春先の水難事故
本格的な雪解けの季節となり川などでは水かさが増し、通常の5~6倍の水量となります。

また、この時期は子どもの野外活動も活発となり、水辺で遊ぶ姿が増えるに伴い、子どもが川に流される事故が多くなります。
事故をなくすため次のことに注意しましょう。
○子どもを水边で遊ばせないようになります。
○自宅の周りに危険な所がないか、確かめましょう。
○幼い子どもから、目をはなさないようにしましょう。

長寿で健康な町づくり みんなの国保 110番



今月は、交通事故と国保のかかわりについて説明いたします。

理髮業を営むAさん宅は、家族全員が国保に加入しています。先日、奥さんのB子さんが近くのスーパーに買物に行く途中、Cさんの運転する貨物車にはねられました。現在も入院中ですが、幸いケガの程度も軽く1ヵ月程の入院ですむと聞いて家族一同安堵しております。先日、奥さんのB子さんは近くのスーパーで買物を行った際に、その医療費は被害者に負担するのが原則となっています。

交通事故やケンカなど第三者（加害者）から傷害を受けた場合、その医療費は被害者に過失のない限り加害者が全額負担するのが原則となっています。

したがって、万一交通事故が発生した場合、国保がその医療費を加害者に請求することになります。ですから、届出をせずに入保を使って診療した場合は、加害者への請求ができないばかりか、医療費が被害者の負担となってしまいます。

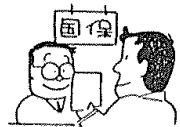
被害者が不利益を被らないためにも、交通事故等にあつた際にも、警察に届けるとともに、国保担当窓口にも必ず届出しまします。

届出に必要な第三者行為傷害届（第三者の行為による被り）は、国保の担当窓口にあります。が、詳細については

交通事故にあったときの3つの注意点



監察に届けて、事故証明書をもらう。



国保に「第三者行為傷害届」を提出する。



示談は国保に相談してから。

▼アンケート調査に
ご協力ください
は、町民の皆さんのが生涯学習

や健康・体力づくりに対する意識や活動状況を把握するため、左記の要領でアンケート調査を実施します。皆さんの声を今後の事業等に積極的に反映させたいと考えておりますので、協力くださいますようお願いします。

▼調査期間 平成3年4月5日(金)~4月30日(火)
▼調査対象 町内に在住する15歳以上の男女1,500人

や健康・体力づくりに対する意識や活動状況を把握するため、左記の要領でアンケート調査を実施します。皆さんの声を今後の事業等に積極的に反映させたいと考えておりますので、協力くださいますようお願いします。



今月から土曜閉庁

毎月第2・第4 土曜日は
役場が休みになります。

今月の土曜閉庁は13日と27日

第2・第4 土曜日でも業務を行う町の施設保育所、幼稚園、公民館、年少センター、火葬場、青少年会館、農村環境改修センターでも同様、死亡届等は日直者が対応いたします。

本物そつくり

伊達邦直らの和人形



「本物そつくりで、いまにも動きだしそう。」

伊達邦直の人形を見る人はびっくりしてしまう。

昭和57年11月に開基110年記念事業として、伊達邦別館が復元されました。

この時、数多くの貴重な資料とともに、2階の居間に伊達邦直と妻志武、そして家臣の3体の歴史風俗和人形が製作され展

法をもちい、胴体は桐の木でできており、血管などもつきで、生き生きとした仕上がりになっています。邦直が46歳時の写真を基に、等身大に作られたもので、生き生きと言われるこそもうなづけます。

ちなみに、人形一体あたりの製作費は、昭和57年当時で男性が70万円、女性が80万円だったそうです。

一瞬、江戸時代にタイムトリップしたような、光景を一度ご覧になつてはいかがでしょうか。

浪曲が好きで全国を旅した

「浪曲が好きで、15歳から、全国を旅して歩いた」という加来朝一さん。「父親も浪曲が好きだったので、その影響を受けたのかもしれません」と笑いながら話します。プロを目指し、大阪行きましたが、終戦を迎え、浪曲では食べて行けないので、プロの道をあきらめ、当別へ帰ってきたそうです。

その後、當林署に働く務め、退職してから現在まで老人懇意の家の管理人として活躍していますが、「唄はいいね」と今は、民謡の綿友会の会員となつて、三味線に合わせ、好きな唄をうたっています。

町の文化祭での芸能発表会には、欠かさず出場するそうで、今年は「北海馬子唄」をと練習に励みます。唄を愛するおじいさん。これからも頑張ってください。

伊達邸別館は、明治13年に建築されたもので、当時の生活を再現し、武士團開拓の生話を知つてもらおうと計画されたものです。

示されました。



加来朝一さん
(末広町・72歳)

●人のうごき●

3月1日現在(前月との比較)

総数	16,053人	(-31)
男	8,003人	(-15)
女	8,050人	(-16)
世帯数	5,405戸	(-2)
2月中の出生	6人	
死亡	10人	
転入	38人	
転出	65人	

町民の皆さん。どしどし明るいニュースをお寄せください。お待ちしております。

4月は、入学、進学、就職、勤務など、節目の季節です。私の職場も新年度のスタートの始まりです。

今年は例年なく、雪が少ないと思われましたが、2月から3月にかけての降雪で雪解けも遅れているようです。

句読点